



京都に米軍基地は、いらない!!

明日 府庁東門・昼休み街頭演説と周辺デモ 6.15丹後集会の成功を

宇川で「憂う会」、伊波・元宜野湾市長を招き講演会
丹後市議会が全員協議会、京都府は参与会議

6月15日の丹後集会を前に、京丹後市議会では、7日に全員協議会が開かれ、中部近畿防衛局が京丹後市の再質問に対し、回答を説明しました。しかし、5万%使用ともいわれる「水」問題など、未だ持って不安や疑問が解消されてはいません。京丹後市長は、「安全安心、確保なら」「配備前向き」「地元として考えをまとめる時期に来ている」（「京都」8日）としています。また、京都府は、5月28日に委嘱したばかりの4人の参与と4日に早くも参与会議を開催し、「Xバンドは、身体に影響ない」（「京都」5日）としています。

15日の現地の空気を変える集会の成功が求められています。現地・丹後では、「憂う会」が、9日、伊波洋一・前沖縄・宜野湾市長を招き、講演会を開催（裏面・要旨）されています。また、中浜船外機組合が、反対の意見書を京丹後市に提出されたり、『京都に米軍基地いらない、住民のくらしと自然を守ろう』の立て看板が一気に立てられ、集会案内の宣伝カーも運行されるなど、急速にとりくみがすすんでいます。

京都に米軍基地は、いらない!!

6.15丹後集会

6月15日(土) 午後1時30分～

京丹後市丹後町宇川「平(へい)海水浴場駐車場」

○お車で、乗り合わせてお越し下さい。

○直通バスの申し込みは、FAX(075-812-4149)まで。団体名と担当者名、連絡先、乗車される方の名前を記入してFAXしてください。往復で3000円です。

6月10日(火) 府庁東門

昼休み街頭演説と周辺デモ

12時～ 街頭演説、12時30分～ デモ

署名宣伝行動 三条河原町

6月20日(木) 午後5時30分～

京都に米軍基地いらない府民の会・役員体制

◆代表委員（共同代表）

- ・米軍基地建設反対丹後連絡会代表 岩崎 晃
- ・京都総評議長 吉岡 徹
- ・京都平和委員会会長 岡田 英樹
- ・京都自治労連委員長 池田 豊
- ・新日本京都府本部会長 森下 総子
- ・自由法曹団京都支部幹事長 中村 和雄
- ・安保破棄京都実行委員会代表委員 河口 隆洋
- ・京都商工団体連合会会長 久保田憲一
- ・京都民主医療機関連合会会長 尾崎 望

◆事務局長

- ・京都平和委員会理事長 戸田 昌基

◆事務局

- ・安保破棄実行委（田中、兵頭、水戸、浜田）
- ・自治労連（川俣）
- ・京都総評・共同センター（辻）
- ・共同センター（青地）
- ・自由法曹団（毛利）
- ・新婦人（村上）

【敬称略】

・発行：米軍専用レーダー基地の設置の撤回を求める京都府民の会（略称：京都に米軍基地いらない府民の会）

連絡先：京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階 京都総評内 京都共同センター気付 電話 075-801-2308 FAX 075-812-4149

日本政府は米軍基地のフェンスの中において、 米軍を守る立場で対処していると言わざるを得ない…

◆伊波洋一・元沖縄宜野湾市長 米軍基地の実態を語る

6月9日（日）、「米軍基地建設を憂う宇川有志の会」は、前沖縄県宜野湾市長の伊波洋一さんを迎えて、米軍基地の実情を学ぶ学習会を丹後町・久備農業会館で開催されました。それに先だち、伊波さんと地域住民や団体の代表との交流会がありました。

・伊波さんは、参加者の質問に答えて、次のお話しをされました。



【伊波さんのお話し（要旨）】

◆米軍には20万人の女性兵士がいる。女性兵士への暴行事件が年に2000～3000件発生している。公表されていないものも含めると統計的に推計して、1万9000件程度になる。どこかで戦争が起きると緊張が高まり、この数が増す。基地周辺の住民に危害が及ぶのも、これで推測ができる。

◆京丹後市の質問書に、防衛省が回答している。それには「米軍に〇〇させます」との表現がいくつか見られる。実際には、防衛省（日本政府）は米軍には何もできない。制度の上からも、できないようになっている。米軍あるいは軍属が交通事故を起こすと、たとえ飲酒運転であっても「公務」扱いになり、裁判権は日本になく、被害者が相手と協議する場はない。日本政府と米政府との間でも、協議の場はない。米政府が加害者に行政処分するのが、関の山だ。

◆住民が米軍を相手に民事訴訟を起こして、仮に住民が勝ったとしても、賠償金を支払うのは米軍ではなく日本政府となっている。

◆冷戦の終結以降、米国は世界各地に配備している基地を縮小している。しかし、日本は例外で、増強している。これは、米軍駐留経費を日本政府が負担（おもいやり予算）するためである。

◆日本政府は米軍にはものを言えず、米軍にとっては日本は戦後の占領が継続しているような状態になっている。日本政府は、基地問題に関しては国民の利益を守る立場ではなく、米軍基地のフェンスの中において、米軍を守る立場で対処していると言わざるを得ない。

（府職労丹後支部「支部情報」より転載）

■米軍基地反対の声 宇川で広がる 船外機組合も反対意見書提出

宇川地区の有志のみなさんで結成する米軍基地建設を憂う宇川有志の会は、地元宇川地区で、住民の不安の声を紹介するビラをこれまで4回に配布しています。

このビラに励まされて、地元住民は不安に思う気持ちを、少しずつ声に出すようになってきています。

宇川地域の中浜港を拠点に、一本釣り・水視・刺し網漁業、遊覧船などで、生計を立てられているモーター組合、船外機組合が、反対の意見書を京丹後市長に提出されています。

署名用紙は

取り組んでいただいてまあとしょうか!?

6月末(第1次)集約をお願いします!!

◆なお、署名用紙は、京都総評HPからダウンロードできます。<http://www.labor.or.jp/sohyo/>

みなさんから、ご協力をいただいた『京都に米軍基地いらない、住民のくらしと自然を守ろう』の立て看板が15日の丹後集会を前に、一気に立てかけられ、現地で、話題になっています。

引き続き **現地「立て看板」(1,000円)にご協力をお願いします!!**